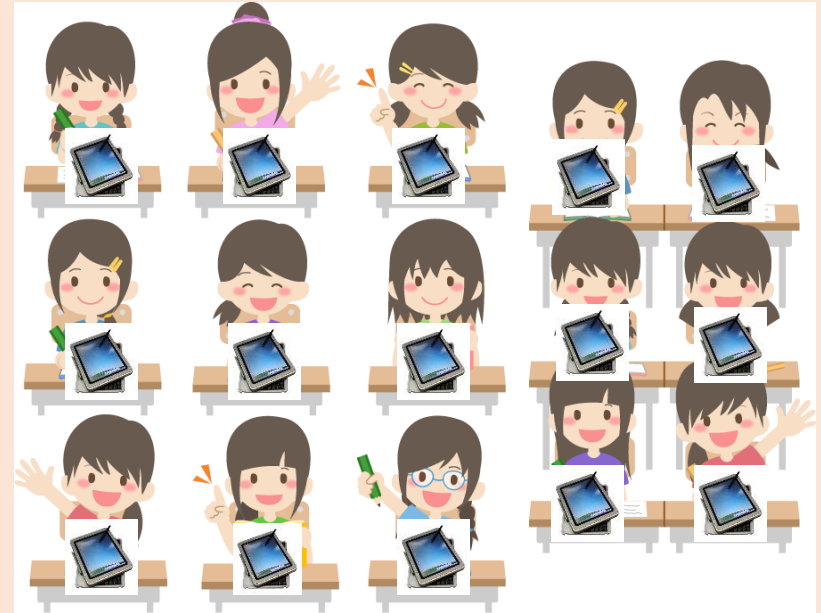




A教室



小学6年生19名



B教室

一人一台のタブレットを
ウェブ会議システムで接続

小学6年生16名

【実証実験の目的】

- ① 3密を避けるため、2つの教室に分かれた児童が担任の授業を同時に受講できるようにする。
- ② 学校休業の長期化を想定し、児童がウェブ会議システムに接続し、家庭で授業を受講できるようにする。

【遠隔授業の概要】

- ① 担任は、A教室で半数の児童に授業を行う。同時にウェブ会議システムに接続する。
- ② 半数の児童は、B教室で一人一台タブレットを持ち、ウェブ会議システムに接続し授業を受ける。
- ③ 担任は、授業の中でB教室の児童に問いかけるなど、双方向のやりとりを取り入れる。(色カード活用)